

基本目標V | 地域資源・都市基盤を活かすまち

まちづくりは、駅を中心としたコンパクトなまちづくりが行われています。それに伴い、市民が集い、憩うことのできる空間が確保されると共に、市民の足となる公共交通が見直され、市民は、安全で環境負荷の少ない交通環境の中で快適な生活を送っています。

また、市民や事業者は、生活環境が安心で快適な環境であり続けるため、地域資源である花・水・緑を維持する取組みを進め、ごみの分別や減量化、リサイクル、省エネルギー化などの環境負荷の軽減を図り、自然と調和した良好な環境が形成されています。



未来日記 ~2025年の恵庭~



夫の地元である恵庭に移り住んで、約30年。恵庭の自然環境が気に入っています。子どもたちも、家を離れましたが、恵庭に帰ってくるたびに、「恵庭岳が見えて、帰ってきたなって気がした」などと言っています。また、恵庭の水が美味しいおかげで、料理もおいしくできて、非常に助かっています。

世界的に温暖化問題が言われるようになって、昔に比べると、北海道の夏も暑くなってきていますよね。以前から、市役所からもよく広報とかでお知らせが来ているので、ごみを減らしたり、リサイクルに取り組んだりはしっかりしています。家計のためにもなりますしね。「エコ」には気をつけています。

それと、10年前くらいからですかね、恵庭市内の各駅周辺がいろいろ充実してきて、よく通うようになりました。バリアフリーになっていたり、施設も集約していて、コンパクトで便利です。しかも最近、冬道を運転するのがだんだん怖くなってきたので、久しぶりにエコバスを利用してみたくです。そしたら、乗継とかがすごく便利になっていて。それ以来、夏でもバスをよく使うようになってきました。これも「エコ」ですね。

こういった「エコ」の効果なのか、最近、茂漁川でホテルがすごく増えてるんですけど、今度夫と見に行こうって話しているんです。